

令和3年度 茨城県立農業大学校評価表

重点目標Ⅳ 【 学生の自治会活動の活性化 】

1. 現状

- ◎ 寮生活を中心とした学校生活を通じて自立と協調の精神を養うために、自治会が設置されている。ここで得られる知識や経験は、将来、農業振興に貢献する優れた農業者等になるためには大変有用であり、自治会指導は本校教育の重要な柱となっている。
- ◎ 自治会活動は、ルールに基づき議論を行って結論を導き、組織的に行動していくなど、社会に出て必要とされる規律ある民主的生活感覚と能力を身につけることを目的としている。そこで、農大祭を始め自治会活動を自主的に企画・運営することを促すとともに、多種多様な課題を抱える人々が存在することへの学生の関心を高めるなど、学生の社会性が培われる教育に努めている。

2. 課題

自治意識の高揚及び自立・協調精神の醸成を目的とする学生指導を実施する。

3. 評価項目別の評価及び実績・課題等

(1) 学生の自治会運営能力の充実と強化

達成度	概要	関係者評価委員会からのコメント(全般)	評価基準(達成度)			
			A	B	C	D
A	寮長や自治会会長に対して助言・指導を行った結果、学生運営組織(委員会)の開催回数が、昨年度より大幅に増加した。また、コロナ禍においても、対面での会議・打合せの代替として「メールによる情報の共有」を実施することで、自主活動をスムーズに運営させることができた。	コロナ禍で交流が制限される中、自治会会長への助言・指導により学生運営組織を活性化させたことは高く評価できる。	100%以上の達成	80~99%の達成	60~79%の達成	40~59%の達成
						39%以下の達成

具体的方策及び評価指標	達成実績 ※【 】は前年度実績	次年度の課題と改善策	関係者評価委員会からのコメント
<p>1 【継続】学生運営組織の自主運営について</p> <p>自治会長・各寮長をメンバーとする執行委員会(農業部)、及び常任委員会(園芸部)の運営について、新型コロナウイルス感染症対策と両立させながら、活動がスムーズに実施できるよう、規律や対人関係について、寮長や自治会会長に対して、助言・指導を行い、各委員会の自主運営を促す。</p> <p>・各委員会の開催回数 農業部(執行委員会):年6回 園芸部(常任委員会):年6回</p>	<p>1 学生運営組織の自主運営について</p> <p>学生自治会が積極的に活動することで、各委員会の開催回数が増加した。特に、小火への対応(農業部のみ)や校内の新型コロナウイルス感染者発生に伴う対策徹底に関して、学生自治会が主体的に取り組むよう委員会の開催を支援できた。</p> <p>また、コロナ禍で学生同士の交流が制限される状況が続いたが、メールのやり取り(職員⇄自治会役員⇄学生)による情報の周知を実施し、自主活動がスムーズに行われるようにした。</p> <p>・各委員会の開催回数 農業部:(執行委員会:20回) 【R2:4回】 園芸部:(常任委員会:6回) 【R2:2回】</p> <p>・主な打ち合わせ内容 農業部:コロナ対応、オープンキャンパス、小火、コース対抗球技会、年末年始における寮の注意事項等 園芸部:コロナ対応、オープンキャンパス、環境整備、歩く会等</p>	<p>コロナ禍により学生同士の交流が制限され、学生の自治活動への関心が低くなっている。自治活動への関心を向上させるため、執行委員(農業部)や常任委員(園芸部)に対して、学生運営組織の目的・意義を再確認させる。</p> <p>引き続き、執行委員、運営委員の運営サポートを強化し、自主活動がスムーズに実施できるよう支援する。</p>	<p>活動参加への意識を低下させないよう様々な形での生徒への工夫した働きかけが必要である。</p>

(2) 自治会活動の充実・強化

達成度	概要	関係者評価委員会からのコメント	評価基準 (達成度)			
C	寮の巡回や環境整備など生活環境の改善については、学生自治会への指導により概ねR2年度を上回る活動内容となった。一方、学生の自主活動については、農業部の農大祭に関する自主活動の強化が指導できたもののコロナ禍により内容変更となったほか、その他の学生自主活動については中止が多く、十分に実施することができなかった。また、「歩く会」の中止に伴い、ボランティア活動も実施することができなかった。	コロナ禍で対応が難しかったと思うが、活動参加への意識を低下させないよう様々な形での学生への働きかけをするなど、工夫して新しい取り組みを取り入れる必要がある。	A	100%以上の達成	D	40~59%の達成
			B	80~99%の達成	E	39%以下の達成
			C	60~79%の達成		

具体的方策及び評価指標	達成実績 ※【 】は前年度実績	次年度の課題と改善策	関係者評価委員会からのコメント
<p>1 【継続】生活環境の改善</p> <p>生活指導担当職員等が寮の巡回を行い、規律や対人関係について、コロナウイルス感染症対策で自宅通学生と寮生の意識の差を生じさせないように寮長や自治会長にアドバイスをする。それを基に自治会が中心となり生活環境の改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 寮の巡回・指導 農業部：年30回以上 園芸部：年15回以上 寮内及び寮周辺の環境整備活動の実施 農業部（年4回） 園芸部（年4回） <p>2 【充実】農大祭等学生自主活動の実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を心掛けながら、学生活動を自ら企画・運営し、仲間意識の向上を図る。特に農大祭実行委員会については体制の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業部 新入生歓迎会（部、コース別、4月）、農大祭（11月）、コース対抗スポーツ大会（12月）、2年生を送る会（2月） 園芸部 新入生歓迎会（4月）、農大祭（10月）、2年生を送る会（2月） <p>3 【継続】ボランティア活動の実施</p> <p>学生の社会性の向上や地域貢献への意識付けのため、新型コロナウイルス感染症対策を心掛けながら、地域のボランティア活動への参加を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域美化活動 園芸部：1月 	<p>1 生活環境の改善</p> <p>コロナ禍により行動が制限された時期もあったが、寮の巡回及び寮内・寮周辺の環境整備については、R2年度とほぼ同様に実施することができた。</p> <p>特に、農業部では7月の小火を受け、学生自治会に対して寮内見回りを新たに実施するように指導し、職員及び学生による巡回の強化を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 寮の巡回・指導 農業部：(35回) 【R2：32回】 園芸部：(9回) 【R2：12回】 寮内及び寮周辺の環境整備活動の実施 農業部（10回） 【R2：6回】 園芸部（5回） 【R2：2回】 <p>2 農大祭等学生自主活動の実施</p> <p>各キャンパスの所在地域や校内での新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、それぞれ内容の変更や開催中止等を適切に判断できるよう指導した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業部 新入生歓迎会（コース別、6月中下旬に実施）、農大祭（代替イベント※を11/5、6に実施）、コース対抗スポーツ大会（11/10に実施）、2年生を送る会（中止）。なお、農大祭については、実行委員の執行部体制を強化するため、正副委員長2名に副委員長1名を加えるよう指導した。 ※「秋の農産物宅配販売会 2021 & コース対抗戦」 園芸部 新入生歓迎会（中止）、農大祭（中止）、2年生を送る会（1/28に実施） <p>3 ボランティア活動の実施</p> <p>園芸部において、1/21の「歩く会」で自主活動として地域の環境美化活動（ゴミ拾い）を実施する予定であったが、コロナ禍のため中止となった。 【R2：中止】</p>	<p>寮や学校生活に関しては、学生自治会に対して、引き続き生活環境の改善を心掛けるよう指導する。</p> <p>また、学生には自主活動への積極的な参加を促し、学生同士の交流を深めることにより、通学生と寮生との意識の差を解消するよう努める。</p> <p>コロナ禍の影響で中止となる活動が多く、各活動を経験する学生がいなくなってしまう。このため、二つのキャンパスそれぞれの取組みについて学生にも共有しながら、活動の目的や手法などについて早めに確認し、準備に取り掛かれるよう、職員の支援を強化する。また、各活動の成果を評価し、学生の学生自主活動への意欲を高める。</p> <p>さらに、コロナ禍による活動制限の影響を避けて活動できるように、実施時期を前倒しするなど、早めの準備を心掛け、日程の変更について柔軟に対応できるよう指導する。</p> <p>活動中止が続いたため、地域貢献の意義について改めて周知し、地域のボランティア活動への意欲を高める。</p> <p>また、コロナ禍による活動制限の影響を避けて実施できるように、実施時期の前倒しについて検討するように指導する。</p>	<p>新しい取り組みを取り入れるなど、工夫して実施してほしい。</p>